とかち新聞
主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄町 とかち新聞社 電話5－2551番
毎日5の日発行 1カ月200円 1カ年前納の場合2,000円

こんどは直接請求で 足寄

議員定数26名を20名に条例制定を

足寄町議会の議員定数二十六名を明年四月の改選期から二十名に減少する条例を制定すべきだとして、地方自治法にもとずいて直接請求の署名運動がおこなわれています。

この代表者は足寄町西五区の富樫繁三郎氏で、請求の理由としては

一、高度経済成長下における著るしい経済変動にともない人件費の高騰が地方財政を圧迫し、予算に占める人件費の割合が年々上昇し住民生活を苦境に追い込んでいる反面、都市産業への人口流出が過疎化に拍車をかけそのとどまるところを知らないのが現状である

二、これにともなう自衛策として、全道二二二市町村中その七三・五％に相当する一五六市町村が議会議員定数減少条例の施行にふみきっており、なかんずく政令都市を除く半数以上がこれを実施し市町村財源の節減をはかっており、こんどもさらにその増加の傾向にある

いわんや十勝管内においても人口の自然増が見込まれる二、三の町を除きほとんどの町村が定数減少条例の施行を実施している現状にある

これは道路網の整備が向上し各戸に電話が施設されかつ著るしい自動車の普及による情報伝達等が容易になったことから、定数減になったことを理由に自治法の上限定数を維持しようとしているが、総面積の八〇％強が国有林を主とする林野であり、住民の居住圏域はわずか二〇％弱にすぎない、これは他町村と同様であり、かつ現政策においては人口増加につながる政策は皆無で

一八名が相当と考えられる

五、よって議員定数削減にともなう財源により、住民が常に要望している教育および終末処理施設などの生活環境整備事業の財源に充当され住みよい町、足寄町の名誉挽回につとめられるよう請求する

となっています。

この直接請求は四月二十八日に小林町長に提出されて即日告示、五月二十七日までの一カ月間に有権者の五十分の一以上、つまり百九十八名以上の賛成、署名捺印を得て提出すればよいので、代表者の富樫氏が委任した十四名の署名収集者

△西区　小林直道、鳥羽生満
△南区　市川貞一郎、加藤一、柳谷孝也、上野林蔵
△旭町　原義美、後藤愛一
△美盛　金森栄、糸島栄一
△鹿沢大陸　近藤光信、外田昭七、くるみ沢大陸
△足寄　八重樫英明

の各氏とともに町の選挙管理委員会（鷲岡俊昭委員長）の証明をうけて運動をすすめ、すでに法定数を上まわる五百名以上の署名があつまったので、近く署名簿を選挙管理委員会に提出することになります。

町議管としては、この日から二十日以内に署名簿の審査をおこなって署名の効力を決定、証明し、このあと七日間にわたって関係人の縦覧に供し、異議かなければ署名簿を代表者に送付し、代表者はこれによって

六月には着工へ 陸別

町長に対して議員定数減少条例制定の本請求をすることになります。

こうなると町長としては二十日以内に町議会を招集して、この条例制定案を付議しなければなりませんが、そのさい町長はこれに賛成か反対かの意見をつけて提案しなければならないし、議会のなかでも賛否両論が対立しているだけに微妙な情勢となっています。

この問題については、町議会ではすでに一昨年と昨年の二度にわたって特別委員会を設けて調査した結果二度とも多数決で議員定数は減少すべきではないとの結論を出しており、特に昨年の富樫氏からの陳情に対しては

一、陳情書に住民の意志が反映されて削減の方向が示唆されたとあるが、公聴会における公述人の反対意見に相通ずる点が調査の町村にも見受けられ不偏普遍の町政実現のためにも定数を減ずべきではない

二、地方自治体の組織規模は巨大化していると（陳情者）も述べているが、組織規模が巨大化し広犬なる地域に散在する町民の多様化した要望不偏化のためにも現定数が望ましい

三、管内十九カ町村の当選平均得票数をみても本町は上位にあり、有権者数に比して議員が多いとはいえない

として、この陳情を不採択にして退けたのに対して、こんどは直接請求の手段に訴えてあくまでも定数減を実現させようとしており、それでもこの条例制定案が否決されれば町議会リコールにまでもち込む覚悟でとりくんでいるそうで、こんどの町長や町議会の対応ぶりが注目されています。

ニュースを斬る

自民党の自信

◆…ことしの十一月の予備選挙、十二月の本選挙によって自民党の総裁選挙がおこなわれますが、いまのところ自民党の総裁は即総理大臣となるのでこの総裁選挙をめざして自民党内の派閥の動きが活発になってきました

◆…ひとたび権力の座を占めればこれにしがみつきたいのが人情で、現総裁の福田首相が再選への意慾を然やしてこの秋にも解散、総選挙をおこなって、現在の議席数を勝てるという自信をもっているのは、野党勢力が益々バラバラとなって、政権担当の能力のある政党は自民党以外にはないという環境が強まっていることです。

◆…特に国会の与野党勢力が伯仲となってからは、ワイロをもらって悪名をたかめた政党が依然として国民の支持を得ているという不思議な国ニッポンといわざるを得ません。

◆…「経済の福田」を自負して登場しながらその成績はサッパリですが、ことし総選挙をやれば自民党が展望がひらかれるというのや民社や社市連などは反自民よりも反共産にウエイトをおいていることで、これでは野党勢力を分断させて自民党政権を喜ばせるだけのことです。

◆…総理大臣か五億円の反自民を標榜する諸党派が文字どおり反自民で団結すればもうひと押しで明るい反自民政権が誕生するかつかつの情勢です。

町最大の統合中学校舎

ことし開基六十周年を迎える陸別町では、初夏から秋へかけて盛り沢山の記念協賛行事等をくりひろげることにしていますが、そのなかでも後世に残る最大の事業として全町の四中学校の統合校舎の建設は、六月に入って国の補助、起債の内示によって着工のはこびとなります。

この工事はことしから三カ年計画で十一億円をかけてという町最大の規模で建設されますが、町はじまって以来の、指名競争入札で行いたいのこの大工事をだれに請け負わせるのかが問題で、四日の臨時町議会後の協議会でいろいろと話し合いがおこなわれました。

町建設業協会（石橋省一会長）から「工事請負入札の指名は町内業者へ…」と申し入れがあり、陸別小学校の統合校舎についても町内業者が立派に仕上げた実績もあり、物価高で工事費増高となっているものの単年度に一挙にやるわけではないので、町内業者の育成のためにも、資材の購入や労務者の採用も地元でとの声も強い反面、町内だけでは有力な競争相手がないことで、指名競争入札である以上は信用のできる町外業者も指名して工事の万全を期さなければならないという意見もあって、要は杉田町長の権限と判断によってとなりましたが、大工

新柄婚礼衣裳 きものと帯は

久保呉服店

足寄町　T五－二一四八

二十正日に 足寄町議会

足寄町では二十五日に臨時議会をひらき、工事請負契約や一般会計予算補正などを提案することにしています。

全十勝民謡大会

足寄町の開基七十周年記念行事協賛のはしりとして二十八日午前九時から公民館大ホールで、第八回全十勝民謡友の会競演大会がひらかれます。

主催は十勝民謡友の会連合会、主管は足寄民謡友の会となりも民謡友の会、後援は町、教育委員会、文化協会で、当日は入場無料で競演大会は夕方までかかる見込みです。

足寄で大相撲

足寄町に二十三年ぶりで東京大相撲の一行がやってきます。

勧進元は足寄相撲協会長の石田富男氏で、八月十一日（雨天の場合は順延）に町役場前の広場で開催の予定で、一行は輪島、若三杉三重ノ海など百七十名となっています。

訂正

本紙前号の足寄町遺国政一郎氏は吉田吉之助氏のあやまりでしたので、訂正いたします。

森林組合の記事中、監事の訂正いたします。

夏物衣料を各産地から沢山仕入れてきました
ただいま陳列を完了しまして皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社 前田呉服店
足寄町駅前商店街 T五－二〇二二

ピアノ科、エレクトーン科、保母養成科、声学科
川岸音学院 院長 川岸新一
講師 斎藤九三子 井出真希子
陸別教室 若葉町 T 二三七九
足寄教室 込山デンキ内 T ⑤二一一二
本別教室 井出建設内 T ⑧二一一五
上士幌教室 家常商店内 T ⑧二〇六五
足寄自宅 北五区 T ⑤二八〇九

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具 建材 サッシ 住宅設備機械
有限会社 桜井家具建具店
足寄町本通り南三丁目 T五－二三六二
アコーデオンカーテン サッシ網戸
各種ご注文承ります
注文建具 注文サッシ 製作部
足寄町西五区 T五－三三一五

○造林用刈払機 ガスデン ロビン 日立 イリノ
○造林用チエンソー スチール マツカラー ハクスバーナー 共立
○林業用刈物 長運斎益光 北の神の鎌 ヒッナタ一式
○電動工具 マキタ 日立 リョービ東和
目下景品大特売中
機械の修理は誠実本位の当社へ
林業機械 造林用具 電動工具 有限会社 鈴木鋸刃物店
本社 足寄町大通り T 五－二三〇七
営業所本別町南二丁目T二－四九二三